

## し 延岡しろやま支援学校 2/25 ろたか販売祭

県立延岡しろやま支援学校高千穂校が、がまだせ市場で「しろたか販売祭」を行いました。

作業学習で製作した竹刀ストラップ、ティッシュケース、箸置きや小皿などの雑貨をがまだせ市場で販売。リピーターや卒業生を始め、鬼八の蔵を訪れた買い物客が立ち止まり商品を買って求めていました。

唯一の生徒である3年生の甲斐陽菜美さんは「ティッシュケースのミシン縫いがうまくできた。たくさんのお客さんが購入してくれてうれしい」「4月からは、販売や接客の学校に進学。将来は販売関係の仕事に就き、人の役に立ちたい」と話しました。



## 地 地域の魅力と課題 2/26 域ビジネスの振興策

県立高千穂高等学校の情報ソリューション科1年生を対象に、神話の里をテーマとしたブランド戦略について学習しました。

現在、県産業教育審議会会長で、前宮崎産業経営大学経営学部教授の笠木秀樹さんを講師に迎え、高千穂の魅力を持続するとともに神話の里としてのブランド定着について、現状やさまざまな課題についてグループで話し合い発表しました。



## あ 地域の方への感謝 2/20 りがとう集会

田原小学校で、日頃お世話になっている地域の方を招いて感謝を伝えるありがとう集会が行われました。

招待されたのは、見守りや読み聞かせのボランティア、民生委員・児童委員、大いちょう歌劇団ら約20人で、それぞれ自己紹介・挨拶をし、子どもたちとの思い出や田原地区の思いを話しました。

その後、子どもたちと招待者は班ごとに分かれ、高千穂いっちょがかるたをして交流を深めました。



## 栄 マナーやルール 2/24 養指導

岩戸小学校の1・2年生を対象に、栄養指導が行われました。

高千穂小学校の大原美智代栄養教諭を講師に迎え、「じょうずな食べ方ってどんな食べ方」をテーマに、食事の際のマナーや正しい箸の使い方などについて指導しました。



## 合 進路意識の高揚 2/6 格体験発表会

高千穂高校で、合格体験発表会が行われました。今春卒業予定の3年生21人(就職7名、進学14名)が、1・2年生に向けて進路決定までのプロセスや今後の高校生活の在り方などについて発表。

これまでの自分の経験をもとに、これから取り組むべきことや合格するための勉強方法や知っておくことなどのアドバイスに、在校生らはメモを取るなど先輩たちの話を傾けていました。



## 消 口約束でも成立 2/16 費者教育

岩戸小学校の6年生を対象に、県消費生活センター延岡支所消費生活啓発相談員の松本哲也さんを講師に迎え、消費生活教育が行われました。

「かしこい消費者になろう」をテーマに、契約や責任などについて学習しました。

佐藤優心さんは「これまではあまり考えずに買い物をしてきたので、これからはきちんと考えながら買い物をしていきたい」と話しました。



## 相 現役力士に挑戦 2/6 撲体験

高千穂小学校の6年生を対象に、相撲教室が行われました。

教室には、熊本県出身の幕の内力士正代関と幕下の将豊竜さんが小学校の体育館を訪れ、四股やすり足といった基礎動作や手押し相撲などの遊びを取り入れた稽古を楽しみました。個人戦やクラス対抗の団体戦で盛り上がった後は、代表児童が正代関らに対戦を挑み、びくともしない体にならないうちで、力強く押すたびに歓声を上げ応援しました。



## 薬 薬を学ぶ 2/6 物乱用防止教室

押方小学校の5・6年生を対象に、薬物乱用防止教室が行われました。

学校薬剤師の坂本力治さん(さくら調剤薬局)を講師に迎え、大麻、覚せい剤などの薬物やアルコール、たばこなどのしこう品、市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)の恐ろしさなど、薬物の危険性や正しい知識を学びました。

